

低額回答粉碎 大中賃上げ獲得

16-18日戦線拡大



80.4.11
NO. 400

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八九(公衆電話三三三二七二〇七)

五回支部代で戦術決定

動労千葉は、四月九日、十三時より動力車会館において、「八〇春闘四月決戦段階の戦術配置」を決定すべく第五回支部代表者会議を開催した。今日、物価異常高騰と合理化攻撃が、われわれの職場・家庭を直撃している。もはや、労働者は闘うことなしには、生活すら防衛できなという現実を肌身をもって感じとり闘いへのエネルギーを充滿させている。しかし、こうした現実を直視せず、もっぱら「ストなし春闘」を画策し、右翼的労戦統一策動をひた走るのが既成指導部の現状である。支部代は、こうした否定すべき現状をなんとか克服し、四月決戦ストを高揚させ、八〇年代労働運動の活性化をつくりださなければならぬことを中心に論議し、動労千葉の四月決戦・戦術大綱を決定した。

会議は、三月三十一日、支部結成をかちとつた区・蘇我地区(十二時〜二十四時)、鹿島地区(佐倉支部の堀口支部長をはじめ全支部長、分科会長が出席し行われた。本報執行部側から第二回定期委員会以降の経過が提起された。

とりわけ経過のなかでは、三・三一佐倉支部結成の画期的意義を全体で確認し、さらに、団結署名完遂にむけオルグ活動を強化することを確認した。

つづいて、八〇春闘情勢の詳細な報告がなされ、動労千葉の八〇春闘方針の核心点をふまえた具体的な戦術が執行部から次の通り提起され、活発な討論を経て満場一致決定された。

八〇春闘四月決戦段階の具体的な戦術を決定

◆基本的に交運・公労協の決定をうけとめ、十六〜十八日、七十二時間ストライキをもって闘う。但し、「本社交渉」等における国鉄当局の対応、ならびに、官憲の弾圧の動向によっては、独自の闘争強化をもって応えることも含め戦術の細部は闘争委員会に一任する。

以上を前提として、

一、四月十三日 国鉄運賃値上げ反対闘争。全乗務員による、十三日始発時より十時までの減産B行動。

二、四月十五日 物価値上げ反対闘争。

(1) 全地上勤務者による始発時より正午までの減産B行動及び昼休み後二十九分間くいこむ職場抗議集会。

(2) 全乗務員による始発時より正午までの減産B行動。但し国電関係は減産A行動。

三、四月十六〜十八日 春闘決戦ストライキ。

(1) 八十六日V千葉地区(〇時〜十二時)、津田沼地

4/15 80春闘勝利 動労千葉総決起集会
一七時半 千葉運転区 全力動員

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！